

(9) 教 育 費

事業名		英語指導員招致事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	01	教育総務費
担当部署	教育委員会		学校教育	課		目	02	事務局費
事業費				10,825,139 円	事業の目的・目標	市内小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国から指導助手を招致し、外国語指導を行うことを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			6,110,200 円				
	一般財源			4,714,939 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

指導助手2名により市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行ったことにより、生の英語に接し、英会話への意欲・ヒアリング能力・英会話能力が向上した。また、休み時間や給食時間なども子どもと共に過ごし、授業時間以外の生活時間を通じて、外国への興味・関心が高まるとともに、国際的視野を広げる等の効果があった。

●小学校・学年別訪問授業時数 368 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	跡市小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	2	2			3	6		
2年生	5	2			3	9		
3年生	6	5	1		4	12		
4年生	9	5	1		3	11		
5年生	16	11	18	10	18	36	17	9
6年生	15	9	18		18	36	36	9
特別支援学級					3			
合計	53	34	38	10	52	110	53	18

●中学校・学年別訪問授業時数 933 時間

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	90	37	138	35
2年生	86	36	136	35
3年生	84	63	111	37
特別支援学級	4	11	15	15
合計	264	147	400	122

●事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	7,272,872	外国語指導助手報酬 (2名)
共済費	1,106,672	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
報償費	3,348	帰国記念品
旅費	451,130	市内旅費・帰国旅費
需用費	36,637	授業用消耗品
役務費	50,360	傷害保険料 (2名分)
使用料及び賃借料	1,732,320	アパート借上料・自動車リース料・会場借上料
備品購入費	27,800	アパート備品
負担金補助及び交付金	144,000	自治体国際化協会負担金 ほか
合計	10,825,139	

事業名		江津市教育研究会助成事業		予算科目	会計	01	一般会計		
事業開始年度		平成	年度		事業進捗率	%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会			学校教育・人権同和教育課		項	01	教育総務費
事業費					5,790,000 円		目	02	事務局費
財源内訳	国庫支出金				円		事業の目的・目標	「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。	
	県支出金				円				
	地方債				5,200,000 円				
	その他				円				
	一般財源				590,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

◎主な事業内容

○小学校外国語活動充実事業

・英語指導講師を招き、研修会を開催する

① H26. 10. 21 津宮小学校 広島大学大学院教育学研究科 松宮奈賀子氏 参加者15名

② H26. 11. 27 渡津小学校 江津市教育委員会 堀康弘指導主事 橋井泰治指導主事 参加者13名

・全国小学校英語活動実践研究大会へ参加し、先進事例を学び意識の高揚を図る

H27. 2. 13~14 横浜市立都築小学校外4会場 参加者8名

○中学生キャリア教育推進事業（H26. 8. 4 市民センター）

「夢は叶う」～故郷を誇りに映画を撮る～

映画監督 錦織良成氏

○教職員資質向上研修に関する事業

①校内研修会を行う

定期的に全教員が研究事業を行い、適宜研究協議を行う

講師 島根大学名誉教授 有馬穀一郎氏 島根大学教育学部准教授 足立智昭氏 講話会

植草学園短期大学福祉学科教授 漆澤恭子先生講演会

筑波大学附属小学校 梅澤真一氏 講話会

高角小学校 授業指導及び示範事業

②教職員を対象にしたコミュニケーション講座の実施

H26. 7. 22外2回 高知大学教育学部教育実践総合センター准教授 鹿嶋真弓氏 講演会

◎事業費用

項目	決算額
1. 島根県小学校校長会負担金補助	160,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	82,000
3. 島根県幼稚園教育研究会・全国国公立幼稚園長会負担金	15,000
4. 生徒指導研修会補助金	20,000
5. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	253,000
6. 江津市教育研究会研究補助	300,000
7. 児童文化振興費補助金	200,000
8. 小中音楽会児童生徒輸送費、楽器運送費会場借上料補助	336,000
9. 教職員研修会補助金	10,000
10. 校内研修会補助金	39,000
11. 江津市学校保健会補助金	160,000
12. 島根県学校保健会補助金	20,000
13. 「江岸の子ら」編集補助	230,000
14. 江津市中学生英語ワークショップ事業費補助金	160,000
15. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
16. 総合学習に伴う補助金（小・中）	540,000
17. 総合学習に伴う補助金（幼）	18,000
18. 江津市小中学校資質向上研修補助	800,000
19. 中学校キャリア教育推進事業	1,000,000
20. 小学校外国語活動充実事業補助	510,000
21. 情報講習会開催補助金	450,000
22. 思春期保健対策事業補助	120,000
23. 人権・同和教育推進活動費	247,000
合計	5,790,000

◎事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	不登校等支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	教育総務費
担当部署	教育委員会	学校教育	課		目	02	事務局費
事業費		6,488,785円		事業の目的・目標	あおぞら学園（旧跡市中学校）において、不登校及び不登校傾向の児童生徒の教育相談や学習支援を行い、学校生活への復帰を支援するとともに、不登校の中でも、家に引きこもっていることが多い児童生徒に対しては、家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供する等の支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	5,000,000円					
一般財源	1,488,785円						

施策の内容、実績、及び効果

1. 教育支援センター（適応指導教室）運営事業

○事業の内容

- 運営体制 教育相談指導員1名・教科指導及び相談6名・指導員2名
- 開設場所 あおぞら学園（旧跡市中学校）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9：30～16：00
- 主な内容 小・中学校との連携により、不登校の児童生徒及び保護者への効果的な支援を行い、学校への復帰を図った。

○事業効果

- ・学校で居場所を失った児童生徒の居場所となっている。
- ・在籍校との連携により、通常の学校生活が送られるようになった児童生徒がいる。
- ・適応指導教室（あおぞら学園）へ通園すれば、指導要録上は出席扱いとなる。

2. 心のかけ橋支援事業

○事業の内容

- 運営体制 相談員1名・支援員1名（相談員が家庭訪問等で不在の時に対応）
- 開設場所 いっぱ（旧跡市中学校の教室を利用）
- 開設状況 曜日：水・金曜日 時間：13：00～16：00
- 主な内容

① 児童生徒への支援

- 居場所づくり ・ ・ あおぞら学園に通う児童生徒との交流
リラクゼーションを目的としたヨガ教室
- 学習支援 ・ ・ ・ 夏季休業中における補習
- 自立支援 ・ ・ ・ 就労支援（職場見学や体験）

② 保護者への支援

- 相談・家庭訪問 ・ ・ 保護者の思いや考えを聞き、今後の支援の方向を確認する。

○事業効果

- ・家に引きこもりがちだった小・中学生を、あおぞら学園につなぐことが出来た。
- ・宿泊活動の共同生活体験を通して、仲間意識が高まった。
- ・保護者の悩みを聞き、同じ思いで支援することが出来た。

●事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報酬	570,000	園長（教育相談指導員報酬）
共済費	25,571	労災保険料
報償費	4,716,593	謝礼金（教科指導員・相談員・指導員・支援員）
旅費	347,950	生徒指導連絡会・他施設との交流会・家庭訪問等
需用費	270,639	消耗品・燃料費・光熱水費・修繕料
役務費	356,848	電話料・ネット利用料・汲取料・傷害保険料
委託料	19,440	消防設備定期点検委託料
使用料及び賃借料	44,064	AED借上げ料
備品購入費	137,680	施設用備品
合計	6,488,785	

事業名		学校司書等配置事業		予算科目	会計	01	一般会計		
事業開始年度		平成	年度		事業進捗率	%	款	10	教育費
担当部署		教育委員会			学校教育	課	項	01	教育総務費
事業費		10,255,931			円	目	02	事務局費	
財源内訳	国庫支出金				円	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指す。			
	県支出金		5,378,000		円				
	地方債				円				
	その他		4,877,854		円				
	一般財源		77		円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

市内小・中学校の規模（学級数）に応じて、すべての学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒への本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図った。また、学校図書館を活用した授業の実施のための資料準備等を教員と連携して行った。

●事業実施校 市内の全小・中学校

- ① ボランティア（6学級未満の学校）【配置時間 1時間/日×5日/週×40週】 3校
跡市小学校・江東中学校・桜江中学校
- ② 学校司書等A（6学級～12学級未満の学校）【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校
- ③ 学校司書等B（12学級以上の学校）【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校
津宮小学校

●事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報酬	1,570,800	司書B報酬（1名）
共済費	285,811	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	7,700,000	司書A賃金（8名）
謝礼金	660,000	ボランティア謝礼金（3名）
旅費	39,320	司書研修（浜田教育センター等）
合計	10,255,931	

○事業効果

学校司書等の配置により、児童生徒1人あたりの年間図書貸出冊数が全体的に増加している。全小中学校で図書館の利用指導やオリエンテーションを行っており、一斉読書、読み聞かせ、推薦図書の選定紹介、読書記録や読書ビンゴなど、さまざまな工夫を凝らして読書活動定着に向けた取り組みを司書教諭と学校司書が中心になって行っている。
また、全ての学校が授業に学校図書館を活用する機会を設けており、学校図書館の果たす役割の高さを示している。

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
	事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	項	01	教育総務費
	担当部署	教育委員会			学校教育	課	02	事務局費
事業費		850,000 円		事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、本人の心の問題だけでなく、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の心に寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して家庭に働きかけ、状況の改善を図ることで健全な育成を図る。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		850,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会に駐在する指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、学校や家庭訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
 - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 - ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
賃金	773,500	相談員（1名）賃金
旅費	74,000	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
需用費	2,500	消耗品
合計	850,000	

- 事業効果
- ・家に引きこもりがちだった児童生徒の家庭を訪問し、家から出て、学校や適応指導教室、学齢期を超えた子については、社会生活に向かうように支援した。
 - ・関係機関との会議や支援会議に参加し、児童生徒の保護者の状況を伝えることで、学校と児童生徒・保護者との橋渡しをした。
 - ・1人で悩んでいる保護者の苦しい思いを聞き、前向きな気持ちで子どもと向き合えるように支えた。
 - ・家庭環境が悪く、生活習慣が身につけていない生徒の家庭を関係課と連携し、環境を改善した。さらに、経済面での支えのため、就労支援を行い経済面での改善も図った。

事業名		指導主事配置事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	教育総務費
担当部署	教育委員会		学校教育		目	02	事務局費
事業費			11,397,409 円	事業の目的・目標	生徒指導主事1名を配置し、課題(不登校、いじめ等)を持った児童生徒の支援及び当該学校の支援・指導を行い、健全な学校経営の支援を行う。 英語と理科教科の指導主事各1名を配置し、中学校英語と小学校理科・算数を中心に教員の授業力向上を図り、児童生徒の学力向上につなげる。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		7,300,000 円				
	その他		円				
	一般財源		4,097,409 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の実績

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	62 回	44 回	106 回
授業力向上の学校訪問	134 回	87 回	221 回

●費用

節	内容等	金額
旅費	学校訪問、諸会議、研修等	266,260 円
消耗品費	教材、英語・初等教育資料等	39,369 円
備品購入費	ブルーレイプレイヤー	18,780 円
負担金補助及び交付金	指導主事3名分派遣負担金	11,073,000 円
合計		11,397,409 円

○事業の効果

①教育支援センターの指導員やスクールソーシャルワーカーと連携し、児童生徒や家族に寄り添った支援をすることにより、いずれの学校も、大きな問題がなく健全な学校運営が行われた。

②市内小中学校において、学校全体又は担当教員に授業力向上を図るための意欲的な取り組みが見られた。

③授業改善に向けて、学校側のニーズに合わせた訪問や学力育成担当者会議を行うことにより、めあてと振り返りの徹底等、明確な改善の視点をもって授業展開を工夫する教員が増えてきた。

④学力育成管理職研修会等を実施することにより、管理職としての経営ビジョンや学力育成のための方策等について、意識改革を図ることができた。

事業名	スクールバス運行事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	教育委員会		学校教育		目	01	学校管理費
事業費			40,534,907 円	事業の目的・目標	市内小学校の遠距離通学児童の通学手段を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。		
財源内訳	国庫支出金		5,140,000 円				
	県支出金		円				
	地方債		2,800,000 円				
	その他		8,100 円				
	一般財源		32,586,807 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

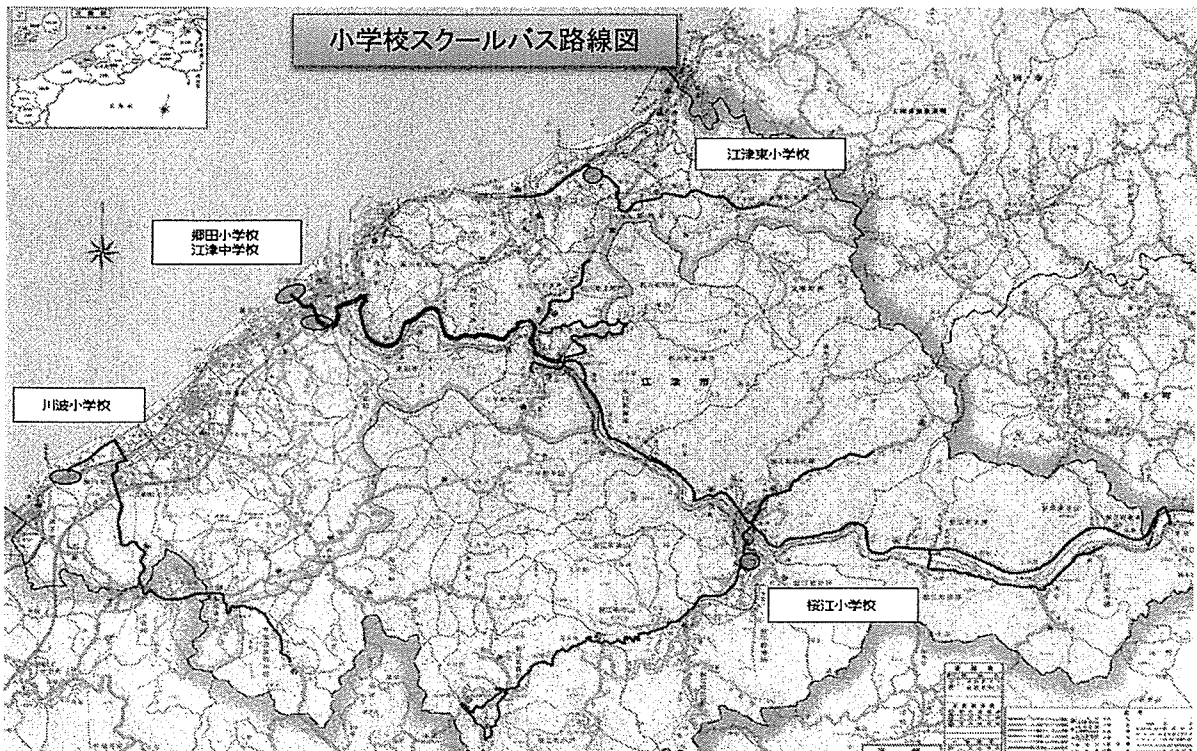
学校	台数	運行区域
郷田小	2	松川町、川平町
江津東小	2	黒松町、波積町、都治町、後地町、浅利町
川波小	1	有福温泉町
桜江小	4	桜江町

●経費内訳

・需用費	5,247,565 円	(燃料費、修繕料等)
・役務費	989,948 円	(車検手数料、保険料等)
・委託料	26,017,200 円	(スクールバス運行委託料)
・備品購入費	8,035,194 円	(郷田小・江津東小スクールバス購入費)
・公課費	245,000 円	(自動車重量税)
計	40,534,907 円	

○事業の効果

郷田小学校区・江津東小学校区、川波小学校区、桜江小学校区のへき地児童の安全な通学を確保している。



事業名		特別支援学級運営費（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	02	小学校費
担当部署	教育委員会		学校教育	課		目	01	学校管理費
事業費		1,352,859 円			事業の目的・目標	小学校に在籍する児童のうち、障がいにより特別な支援が必要な児童に対して、支援を行うもの。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		1,352,859 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

小学7校に設置している特別支援学級及び、津宮小学校に設置している通級指導教室において、障がいのある児童への支援を行った。また、平成27年4月、郷田小学校及び渡津小学校に特別支援学級を増設するにあたり、教材備品の整備を行った。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
需用費	1,075,577	消耗品・燃料・光熱水費・修繕料
役員費	125,549	電話料・インターネット利用料・郵券代
使用料及び賃借料	14,256	コピー機使用料（通級教室）
備品購入費	137,477	通級教室・特別支援学級の教材備品 新設学級の教材備品
合計	1,352,859	

事業名		学力向上支援員配置事業（小学校）		予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	教育委員会		学校教育		目	01	学校管理費
事業費			4,596,694 円	事業の目的・目標	児童の個々のつまづきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、児童の学習意欲を高め、全国学力調査や島根県学力調査及び校内で行われる全校テスト等において学力の改善を促す。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		3,500,000 円				
	その他		1,048,000 円				
	一般財源		48,694 円				

施策の内容、実績、及び効果

児童一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまづきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取り入れを行うために、小学校8校に学力向上支援員を配置した。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	10,294	労災保険料
報償費	4,586,400	謝礼金（学力向上支援員19名）
合計	4,596,694	

○事業の効果

- ・授業中につまづきの見られる児童に繰り返し説明する等、個人の実態に応じた学習の補助をすることにより、すべての児童が「分かる喜びと学ぶ楽しさ」を感じられるよう、学習の充実を図った。
- ・ノートチェック、プリント添削等の補助支援を行うことにより、教師の指示をわかりやすく伝えることができ、学習理解が深まり学習意欲の向上を図ることができた。

事業名		特別支援教育支援員配置事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	02	小学校費
担当部署	教育委員会		学校教育	課		目	01	学校管理費
事業費		7,861,429 円			事業の目的・目標	小学校に在籍する「学習障がい（LD）・注意欠陥多動性障がい（ADHD）・高機能自閉症」等の教育的支援が必要な児童に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	円						
一般財源		7,861,429 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、小学校に在籍する発達障がい等により教育的な支援が必要な児童に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、小学校8校に特別支援教育支援員を配置した。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	21,229	労災保険料
報償費	7,840,200	謝礼金（特別支援教育支援員17名）
合計	7,861,429	

○事業の効果

- ・ 学習や活動の流れや手順、担任の指示等が対象児によく伝わり、児童が安心感や見通しを持って学習や活動に取り組むことが出来た。
- ・ 個に応じた支援を行うことで、学習や行事等に対象児なりにかかわることが出来、満足感や達成感を味わうことが出来た。
- ・ 担任とは違った視点で児童を見守ることで、担任には気付かなかった子どもの心の動きや様子が気付くことが出来た。

事業名	小学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	教育委員会	学校教育	課		目	02	教育振興費
事業費		42,340,968 円		事業の目的・目標	小学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な児童及び特別支援学級へ就学する児童への援助、図書や教材の購入を行う。		
財源内訳	国庫支出金	976,000 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	15,524,328 円					
一般財源	25,840,640 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●学校就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	3,202,657	対象人員 146 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
学校給食費	7,184,717	対象人員 145 人
生徒会・PTA会費	426,208	対象人員 145 人
学校医療費	217,133	対象人員 32 人
特別支援教育費	483,023	対象人員 13 人
合計	11,513,738	

●小学校教育用コンピュータ整備事業

市内8小学校に、パソコン、ソフト等をリースで設置した。
パソコンの基本操作に慣れ、インターネット等を使って必要な情報を収集して学習に役立てた。
電子教材を使った授業等により児童の関心を高めることができた。
・コンピューター借上料 15,129,828円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	346,866	入学祝い・卒業記念品
需用費	5,918,387	消耗品・小学校教科書改訂に伴う教師用指導書・社会科副読本
備品購入費	9,432,149	図書購入費・教材購入費
合計	15,697,402	

事業名	スクールバス運行事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	款	10	教育費
担当部署	教育委員会		学校教育		課	項	03	中学校費
事業費(A)					円	目	01	学校管理費
財源内訳	国庫支出金				円	市内中学校の遠距離通学生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。		
	県支出金				円			
	地方債				円			
	その他			967,460	円			
	一般財源			13,839,533	円			
				事業の目的・目標				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
江津中	※	松川町、川平町
青陵中	2	跡市町、千田町、井沢町、清見町、有福温泉町
桜江中	1	桜江町

※江津中は小学校のスクールバスを利用

●住民利用

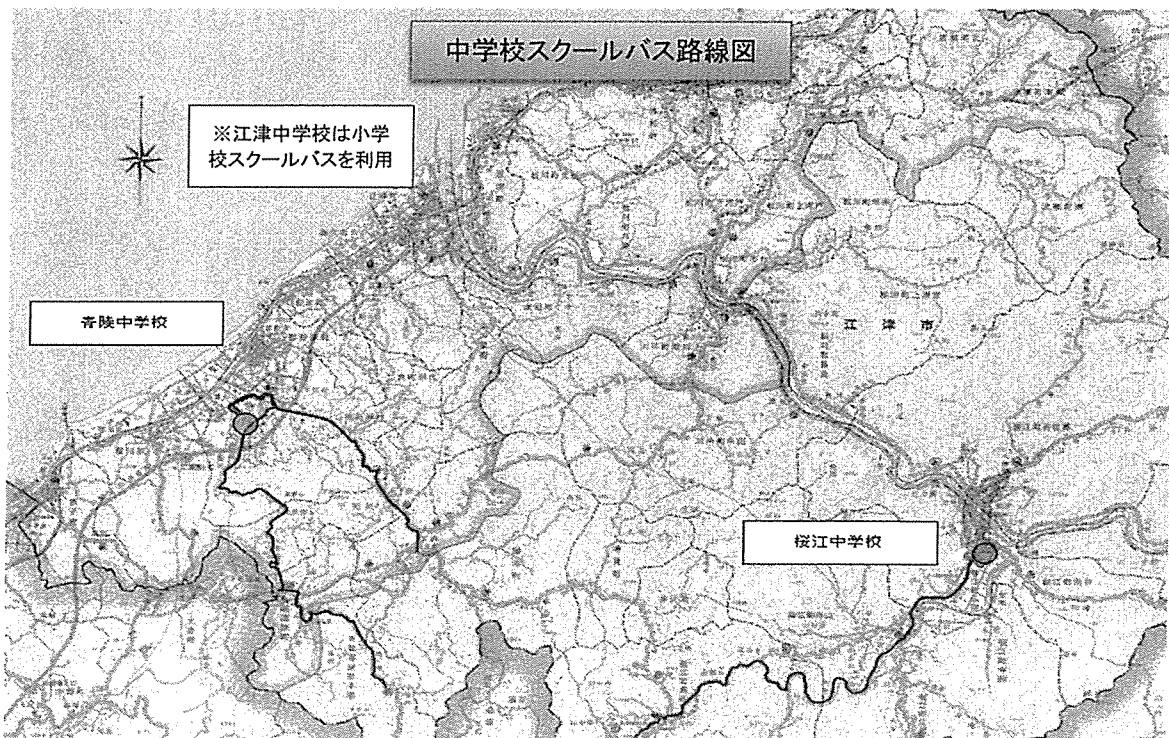
- ・利用車両 桜江中バス
- ・区間 川戸駅～風の国
- ・利用者数 4,025 人
- ・運賃収入 967,460 円

●経費内訳

・需用費	2,412,520 円	(燃料費、修繕料等)
・役務費	196,433 円	(車検手数料等)
・委託料	12,086,280 円	(スクールバス運行业務委託料)
・賃借料	60,160 円	(建物使用料)
・公課費等	51,600 円	(自動車重量税等)
計	14,806,993 円	

○事業の効果

江津中学校区、青陵中学校区及び桜江中学校区のへき地生徒の安全な通学を確保している。また、桜江地区住民の交通手段を確保することで、日常生活の利便性が図られている。



事業名		特別支援学級運営費（中学校）		予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署	教育委員会		学校教育		目	01	学校管理費
事業費			348,513 円	事業の目的・目標	中学校に在籍する生徒のうち、障がいにより特別な支援が必要な生徒に対して、支援を行うもの。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		348,513 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

中学校3校に設置している特別支援学級及び、青陵中学校に設置している通級指導教室において、障がいのある生徒への支援を行った。また、平成27年4月から江東中学校に特別支援学級を新設するにあたり、教材備品の整備を行った。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
需用費	224,535	消耗品・燃料費
役務費	34,088	郵券代
備品購入費	89,890	教材備品・新設学級の教材備品
合計	348,513	

事業名		学力向上支援員配置事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計
						款	10	教育費
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署		教育委員会		学校教育		目	01	学校管理費
事業費		5,052,800 円			事業の目的・目標	生徒の個々のつまづきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、全国学力調査や島根県学力調査及び校内で行われる全校テスト等において学力の改善を促す。		
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	3,800,000 円						
	その他	1,252,000 円						
	一般財源	800 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

生徒一人ひとりの学力の最大限の伸長をめざし、個々のつまづきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容の積極的な取り入れを行うために、中学校4校に学力向上支援員を配置した。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	12,800	労災保険料
報償費	5,040,000	謝礼金（学力向上支援員13名）
合計	5,052,800	

○事業の効果

- ・ きめ細やかな指導により生徒の理解が進み学力の定着に繋がった。
- ・ すべての生徒が「分かる喜びと学ぶ楽しさ」を感じられるよう、学習の充実を図った。
- ・ 習熟出来ていない既習の内容も取り上げて個別に学習を進めていくことで、学習への意欲が高まった。

事業名	特別支援教育支援員配置事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	03	中学校費
担当部署	教育委員会	学校教育	課		目	01	学校管理費
事業費		1,515,840 円		事業の目的・目標	中学校に在籍する「学習障がい（LD）・注意欠陥多動性障がい（ADHD）・高機能自閉症」等の教育的支援が必要な生徒に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
一般財源	1,515,840 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、中学校に在籍する発達障がい等により教育的な支援が必要な生徒に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、中学校4校に特別支援教育支援員を配置した。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	3,840	労災保険料
報償費	1,512,000	謝礼金（特別支援教育支援員6名）
合計	1,515,840	

○事業の効果

- ・精神面に不安がある生徒に対して、休憩時間や放課後にも側についてサポートを行うことで、安心して学校生活を送ることが出来た。
- ・支援員が個別に指示を与えたり、成果を認めることで、落ち着いて学習することが出来るようになった。

事業名	中学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	03	中学校費
担当部署	教育委員会		学校教育		課	目	02	教育振興費
事業費		30,035,786 円		事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な生徒及び特別支援学級へ就学する生徒への援助及び図書や教材の購入を行う。			
財源内訳	国庫支出金	606,000 円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	12,147,732 円						
	一般財源	17,282,054 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●中学校就学援助事業

区分	事業費	備考	
学用品費等	4,272,217	対象人員	84 人
学校給食費	4,369,524	対象人員	84 人
生徒会PTA会費	333,757	対象人員	84 人
学校医療費	40,149	対象人員	8 人
特別支援教育費	631,732	対象人員	11 人
合計	9,647,379		

●中学校教育用コンピュータ整備事業

市内4中学校に、パーソナル・コンピュータ、ソフト等をリースで設置した。
パソコンの特性を踏まえ、インターネット等からの情報を学習に有効に役立てた。
・コンピューター借上料 12,147,732円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	196,730	卒業記念品
需用費	417,530	消耗品・楽器の修繕料
役務費	328,040	桜江中学校遠距離通学生徒定期券代(JR)
備品購入費	7,298,375	図書購入費・教材購入費
合計	8,240,675	

事業名	公民館費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	02	公民館費	
事業費		39,887,944 円		事業の目的・目標	個人の要望と社会の要請に応えた学びの場を提供する。地域の社会教育施設としての機能を担保するための管理・運営を行う。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	933,362 円						
一般財源	38,954,582 円							

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容 公民館の管理・運営

○事業費の内訳等

・人件費 29,721,720 円

	金額	備考
報酬費	25,661,400	館長、主事
共済費	3,114,082	雇用保険料、社会保険料、労災保険料
賃金	702,468	生涯学習センター清掃員賃金
旅費	243,770	職員会議、公民館研究集会等各種研修参加

・物件費 9,490,794 円

	金額	備考
需用費	5,470,457	消耗品費、燃料費、光熱水費
役務費	1,489,284	通信運搬費、手数料、火災保険料
委託料	1,407,024	消防設備点検、防火対象物点検、浄化槽管理
使用料及び賃借料	1,041,609	土地借上料(嘉久志)、CATV・テレビ視聴料、AEDレンタル料
負担金及び交付金	82,420	県公連負担金、防火管理者研修受講負担金

・工事費等 675,430 円

	修繕費	補修材料費	修繕内容
波積公民館	5,400		火災報知器交換
渡津公民館	35,580		浄化槽、ブラインド
郷田公民館	72,414		誘導灯設備、講義室ドア
金田公民館	27,864	5,266	濾過装置、戸修繕等
和木公民館	58,836		消火器表示、誘導灯、網戸、外灯
都野津公民館	242,078		自火報バッテリー、誘導灯、フロア、玄関外灯等
二宮公民館	6,480		誘導灯
波子公民館		21,384	ブラインド
長谷公民館	33,652		消火器廃棄、ガラス
市山公民館	10,740	12,960	ガラス、玄関前舗装
川戸公民館	71,280		誘導灯バッテリー、小便器、外灯
谷住郷公民館			
川越公民館	71,496		玄関外灯、トイレバルブ
合計	635,820	39,610	

○事業の効果 地域住民が安心して施設利用できるための館の管理とともに、地域住民の学びをつくるための職員の資質向上のための研修等を推奨した。

事業名	公民館活動支援事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	款	10	教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		課	項	05	社会教育費
事業費	1,573,000 円				目	02	公民館費	
財源内訳	国庫支出金			事業の目的・目標	地域のさまざまな課題解決に向け、地域の財産を活かした公民館活動を支援する。			
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,573,000 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

公民館名	特に公民館が力を入れた事業（2つ）	
波積公民館	出前講座	敬老会
渡津公民館	高齢者教室	春・夏・冬休み子どもの集い
郷田公民館	郷田っ子ひろばロボット教室	人権・同和教育推進事業
金田公民館	ふれあい農業体験塾	高齢者教室
和木公民館	ふれあい事業（童謡唱歌を歌う会）	イルティッシュ号語り部育成
都野津公民館	つのだ博士検定	都野津を考える会
二宮公民館	第4回ワークショップin二宮	
波子公民館	波子（8/4）の日	盆踊り練習会
長谷公民館	公民館祭り	振替休日支援事業（わくわく広場）
市山公民館	振替支援事業「ふりきゅうクラブ」	ひまわり大作戦
川戸公民館	桜江ボール歩きの会	川戸とんど焼き
谷住郷公民館	第1回谷住郷夜桜まつり	谷住郷公民館子ども神楽教室
川越公民館	館報発行	校庭草刈、整備

○事業の効果

各公民館で計画し、実施する地域課題解決へつながる地域住民の学びをつくる活動を支援した。

事業名	図書館運営事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		目	03	図書館費	
事業費(A)			22,707,713円		事業の目的・目標	市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由に公平な利用ができる場を提供する。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		65,000円					
一般財源		22,642,713円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

節	金額	備考
報酬	20,400	図書館協議会委員報酬
旅費	2,480	図書館協議会委員旅費
需用費	1,455,575	光熱水費
役務費	13,648	自動車損害保険料
委託料	19,594,837	指定管理料19,527,000円 桜江分館清掃業務67,837円
備品購入費	1,604,773	図書購入費
負担金及び交付金	16,000	島根県公共図書館協議会会費等
合計	22,707,713	

●蔵書冊数

区分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	平成26年度末	蔵書冊数
本館	65,270冊	1,498冊	28冊		66,740冊
桜江分館	16,461冊	429冊	7冊		16,883冊
計	81,731冊	1,927冊	35冊		83,623冊

●利用状況

区分	本館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	283日	282日	11日	
入館者数	14,676人	4,628人		19,304人
利用者数	9,386人	2,091人	52人	11,529人
登録者数	1,163人	360人	6人	1,529人
貸出冊数	31,108冊	4,504冊	191冊	35,803冊

●文化活動

講座等	会員数	開催日数	開催期日または定例日
古文書入門講座	14人	12回	毎月第3土曜日 14:00~16:00
古文書を読む会	13人	12回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	8人	11回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
あすなろ読書会	6人	10回	毎月第2木曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	8人	7回	毎月第3水曜日 14:00~16:00
としょかんクラブ	16人	10回	毎月第3日曜日 15:00~16:00
図書館ブックレビューの会	10人	4回	毎月第3木曜日 19:00~20:30

●その他

・催し

8月17日(日) 江津市図書館まつり 参加延 150人
7月27日(日) 江津市図書館桜江分館まつり 参加延 70人

・広報活動

図書館報「洗心」 新着図書案内の発行 年12回
市広報「かわら版」への図書館ガイドを掲載 12回
ツイッター、防災無線、市HP、新聞イベント欄等での情報発信(随時)

・研修生、実習生、ボランティアの受入れ

職場体験：中学生2名
ボランティア：読み聞かせ(延べ5名)、事務補助(本館2名)

・学校司書への協力

学校図書館支援図書(県委託)等でのサポート

○事業の効果

図書館環境整備の充実、文化活動への支援、広報活動等を通じて、市民、利用者への意識が高まり、図書館利用者への増加につながっている。

事業名	社会人権・同和教育事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	人権同和教育	課		目	04	社会人権同和教育費	
事業費(A)		3,283,615円		事業の目的・目標	同和問題をはじめとする人権問題を市民一人ひとりが、正しく理解し自らの問題として捉え、早期解決が図られるよう「差別をしない」「差別をさせない」「差別を許さない」心情と態度を育てる。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	9,187円						
一般財源	3,274,428円							

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	決算額
<p>●社会・人権同和教育事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和教育指導員の設置（社会教育指導員1名） ・人権・同和教育推進協議会の開催（6月24日） ・県人権・同和教育推進協議会連合会、研究集会、研修会等参加 ・人権・同和教育研修会の開催（市職員研修等） ・教育集会所（波来浜ふれあい集会所）管理・運営等 	3,058,615
<p>●人権・同和教育推進事業</p> <p>人権・同和问题解決のための教育・啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権・同和教育講演会 講演：8月5日島根県石央地域地場産業振興センター 演題：「三番叟まわし」を受け継いで 講師：辻本絵蘭さん（芝原生活文化研究所） 参加者数：251人 ・人権啓発カレンダーの作成・配布 計2,200枚 （小・中学生、公民館、関係機関等） 	
<p>●地域人権・同和教育推進協議会活動事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地域に委託（川越・郷田・都治） 	180,000
●諸会議負担金（研修会参加負担金）	14,000
●島根県同和教育推進協議会連合会負担金	31,000
合計	3,283,615

○事業の成果

社会人権・同和教育の推進において、人権・同和教育推進協議会を中核とする事業を展開した。地域活動による地域学習と学校人権・同和教育との連携により、相乗効果が図られた。

事業名	人権教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		人権同和教育		目	04	社会人権同和教育費
事業費(A)		498,590円		事業の目的・目標	人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
一般財源		498,590円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	決算額
<p>●人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権を考えるつどい、みんなで考える人権のつどい（巡回講演会） 地域別人権問題研修会、人権・同和教育主任等研究協議会の開催 人権啓発展の開催 <p>●人権教育推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで考える人権のつどいの開催 期間：6月～3月 会場：市内13公民館・8地域コミュニティ交流センター 演題：「暮らしの中の人権Ⅲ～支え合い共に生きる～」 講師：二又 茂樹さん（社会教育指導員） 参加者数述べ：455人 地域別人権問題研修会の開催 演題：「出会いと表現 ～あることをないことにしない～」 講師：大湾 昇さん（徳島県・止揚の会事務局） ：5月8日 桜江中学校（参加者数述べ：450人） ：12月8日 江津中学校 ：12月9日 江東中学校 ：12月9日 青陵中学校 講演：9月30日 川波小学校（25人） 演題：「学びでつながる学習集団づくり」 講師：土田光子さん（大阪教育大学非常勤講師） 人権・同和教育主任等研究協議会の開催 期間：6月・11月・2月（年3回開催）（参加者数述べ：100人） 内容：記念講演・分科会 	407,455
<ul style="list-style-type: none"> 人権啓発作品展の開催 期間：12月1日～11日 会場：市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校 消耗品費：91,135円（応募作品記念品等） 	91,135
合計	498,590

○事業の効果

市内公民館13館、地域コミュニティ交流センター8館をくまなく巡回する講演会と地域別人権問題研修会により、より一層の人権教育の推進が図られた。

事業名	社会教育活動費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		目	06	社会教育活動費
事業費 (A)			813,334 円	事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		813,334 円				

施策の内容、実績、及び効果

1 出前講座 83,334 円

○事業の内容

●出前講座

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。

○事業の実績

●実施件数および参加者数

173件 4,043人 (平成25年度 193件 4,785人)

○事業の効果 【受講者・アンケートより】

学校で習っていない昔の道具がたくさん見て取れてとてもうれしかったです。

郷土資料館が図書館のそばにあるなんて初めてわかりました。

自宅や学校でどのような危険があるのか確認することを全くしていなかったもので、これからマップなどを見てみようと思います。

手口が巧妙になり、被害にあわないように努力しても高齢者には対応が難しくなってきた。

研修を重ねること、隣近所のつながりを大切にすることが重要だと思った。

口の中を清潔に保つことの大切さを知りました。

○事業費の内訳

印刷製本費 (出前講座メニュー表)	70,200 円
消耗品費	1,134 円
通信運搬費	12,000 円
計	83,334 円

2 地域活動支援事業 730,000 円

○事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験演習、見学など幅広い活動を行う。

○実施主体

江津市連合婦人会、各地域15婦人会

○事業の実績

●実施件数および参加者数

105回 5,618人 (研修18回、レク活動11回、伝統芸能6回、学習会10回、祭企画22回、環境保護18回、交流会20回)

○事業の効果

今年度活動目標としていたテーマに沿って、地域を主体とした「集う楽しさ」を原則に会員の連帯を図った。

また、県民の宝ふるまい向上の推進、男女共同参画社会の推進、また人権・同和問題への研修を重ね、豊かな自然の中で誰もが安心して暮らしができる地域づくりへと努力してきた。

交通安全母の会、消費者友の会、赤十字奉仕団、婦人防火クラブ活動にと行動を起こし、実践につなげ、会員同士が共に江津市連合婦人会であることに誇りを持ち、尽力してきた。

○事業費の内訳

委託料 (各地区へ20,000円、連合会430,000円)	730,000 円
-------------------------------	-----------

事業名	ふるさと教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	06	社会教育活動費
事業費		1,170,000 円		事業の目的・目標	学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通して、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	1,170,000 円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。

地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。

小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞し、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。

中学校では主に、地域の職場を見学したり、実際に業務の一部を体験することで、ふるさとの地場産業に触れ、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の効果

- ・地域とのふれあい、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。
- ・ふるさと教育にキャリア教育の考え方が入ってきて、教育活動が深化してきた。

○事業費

	ふるさと教育の経費		計
	報償費	活動経費	
郷田小学校	0	70,000	70,000
渡津小学校	20,400	49,600	70,000
江津東小学校	9,000	61,000	70,000
跡市小学校	15,600	54,400	70,000
川波小学校	0	70,000	70,000
津宮小学校	4,000	66,000	70,000
高角小学校	21,000	49,000	70,000
桜江小学校	17,400	52,600	70,000
江津中学校	0	70,000	70,000
江東中学校	21,000	49,000	70,000
青陵中学校	21,000	49,000	70,000
桜江中学校	17,400	52,600	70,000
事務局費	57,980	242,020	300,000
社会教育主事課員派遣教員活動交付金		30,000	30,000
計	204,780	965,220	1,170,000

事業名	学校支援地域本部事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 20 年度	事業進捗率	%		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	06	社会教育活動費
事業費		963,000 円		事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	642,000 円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	321,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

近年の度重なる青少年の凶悪犯罪や、いじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。また、学校教育においては、教育活動以外等の業務が増加しており、教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

○事業の実績

1. 地域教育協議会の開催

【第一回：5/20 第二回：2/26】

子どもプラン運営委員会、地域教育協議会、ふるさと教育地域連絡協議会の合同開催

①今年度の社会教育事業について

②社会教育計画について

2. 各小中学校における学校支援ボランティアへの取組み

①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材ほりだし

②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介

③登下校時の安全指導員の調整

④学校環境整備活動の人員確保

⑤放課後子ども教室との連携

⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

3. コーディネーター等連絡会議

【第一回：6/16、第二回：9/17 第三回：3/20】

①学校支援地域コーディネーター、放課後支援コーディネーター、親学ファシリテーターの合同連絡会議を開催

②26年度は、社会教育計画策定のためのワークショップを研修と兼ねて実施

・支援活動事業数：合計 770日

・参加人数（延べ）：合計4,120人

○事業の効果

・地域コーディネーターの活動が、学校の依頼に応えるものから、地域の願いと児童生徒の育成を考えたコーディネート活動に発展してきた。

・ふるさと教育や、放課後支援などの様々な活動についても、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

○事業費の内訳

区分	地域教育協議会の活動経費	教育支援活動の経費	計	内容
諸謝金	37,500	703,200	740,700	運営委員会謝金、コーディネーター活動謝金
旅費	13,880		13,880	研修会、地域協議会出席者旅費
消耗品費		160,440	160,440	会議資料紙代等消耗品
通信運搬費	5,420	42,560	47,980	ボランティア連絡用切手
計	56,800	906,200	963,000	

事業名	未来を拓く江津塾事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 22 年度	事業進捗率	%		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	06	社会教育活動費
事業費 (A)		4,000,000 円		事業の目的・目標	地域において、伝統文化や伝統芸能、また、地域独特の産業に携わる方々に、それを継承する場を学社融合の理念から学校に設ける。また、江津市の子どもたちに体験型、実験型コンテンツを用いて、科学を通じた人間教育・人材育成を行うとともに、江津で生まれた子どもは地域で育て地域で生かすという「ふるさと教育」の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	4,000,000 円					
	その他	円					
	一般財源	円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

ロボット制御を通じて、観察力・問題解決能力・理論的思考法の習得、コミュニケーション能力の向上と語学力の発達を図る。また、講演会を開催し、世界に目を向けるような子どもを育てる。

- ・市内小学校におけるロボット体験教室の開催
- ・「子どもの理科離れをなくす会」代表の北原達正氏による講演会の開催
- ・子どもたちを対象とした、ロボット教室の開催
- ・サッカーロボット江津市大会、県大会の実施

○事業の効果

サッカーロボット教室では、プログラミングによるロボット操作を経験し、科学に対する関心を高めることができた。

コーチ、役員等には地元の方に協力いただいております、地域の人材による子どもを育てる体制ができつつある。

ロボットサッカー大会は江津ノード、島根県大会、全国大会を経験し、特に本年度は全国大会で跡市小のチームが準優勝を果たすなど、子どもたちに大きな経験と夢を与えた。

○事業費 NPO法人 「てごねっと石見」 に委託。 委託料4,000,000円

節	金額	備考
給料	1,855,200	
法定福利費	261,417	
賃金	640,400	スタッフ賃金
旅費	235,899	普通旅費
需用費	530,444	消耗品、光熱水費、修繕料他
報償費	185,186	講師報償費
使用料及び手数料	4,400	事務所、会場借上げ
備品購入費	0	
公課費	299,196	
合計	4,012,142	12,142円 てごねっと負担

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		目	06	社会教育活動費
事業費		9,067,000 円		事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを楽しむ側に回るのでなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	6,044,000 円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	3,023,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）

放課後等に地域の公民館等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

○事業の実績

●郷田っこひろば	(郷田小学校区)	年間実施日数	51 日
●アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	"	2 日
●渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	"	22 日
●江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	"	121 日
●跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	"	226 日
●波っ子クラブ	(川波小学校区)	"	11 日
●都野津子ども教室	(津宮小学校区)	"	5 日
●二宮集いの家	(津宮小学校区)	"	250 日
●つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	"	75 日
●角っこひろば	(高角小学校区)	"	81 日
●川越安心ひろば	(桜江小学校区)	"	48 日
●桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	"	174 日
			合計 1,066 日

※角っこひろばは土曜日支援あり

○事業の効果

- ・学校・家庭・地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- ・放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりの中、相互に成長が見られる。
- ・集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- ・そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力とつながっている。
- ・地域住民の参画：のべ4,324人　子どもの参加：のべ24,485人

○事業費の内訳

節	金額	内容
報償費	8,113,900	各教室コーディネーター等謝金
旅費	88,260	研修会等旅費
需用費	576,292	各教室消耗品等
役務費	288,548	各教室コーディネーター等保険料
計	9,067,000	

事業名	放課後児童クラブ事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		目	06	社会教育活動費
事業費 (A)		48,484,491 円		事業の目的・目標	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学しているおおむね10歳未満の児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	17,662,000 円					
	地方債	円					
	その他	10,992,176 円					
	一般財源	19,830,315 円					

※がんばる地域交付金2,743,000円充当

○ 施策の内容、実績

節	金額	備考
報酬	21,162,513	指導員報酬
共済費	3,502,214	指導員共済費(社会保険他)
賃金	2,283,960	補助員
旅費	7,700	指導員旅費
需用費	1,581,693	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	302,703	通信費、損害保険料他
委託料	16,265,354	運営委託(桜江、川波、渡津、郷田) 浄化槽管理81,000円
使用料及び賃借料	24,624	CATV
工事請負費	3,133,200	桜江クラブ室改修2,743,200円 高角電気空調設備390,000円
備品購入費	214,360	高角 冷蔵庫、テレビほか
負担金及び交付金	6,170	防火管理者講習
合計	48,484,491	

5月1日現在

児童クラブ名	入所児童数					
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	合計
津宮放課後児童クラブ	6	22	20	14		56
高角放課後児童クラブ	3	16	12	9		37
江津東放課後児童クラブ	3	11	9	7		27
桜江放課後児童クラブ	3	12	16	4		32
渡津放課後児童クラブ	1	7	7	5		19
川波放課後児童クラブ	2	5	5	2	2	14
郷田放課後児童クラブ	2	17	7	7		31
計	20	90	76	48	2	216

○ 事業の効果

放課後及び長期休暇中の子どもの安全と健全な育成を推進し、保護者の就業支援に寄与している。

事業名	教育コミュニティ創造ふるさと学習支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%	項	05	社会教育費	
担当部署	教育委員会	社会教育	課	目	06	社会教育活動費	
財源内訳	事業費	4,971,539 円		事業の目的・目標	江津市のソーシャルキャピタルを豊かにし、地域の活性化を図るために、地域と学校の協働で行われる「ふるさと学習」を支援することで、将来、江津市を担う人材の育成とともに、地域の人材育成と学びを媒体とした学校・家庭・地域のつながりを創造します。		
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	4,900,000 円					
	その他	円					
一般財源	71,539 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 各小中学校が主体となって行う次にあげる活動を、江津市で支援します。
- (1) 郷土史、伝統文化、郷土芸能等の研究者・従事者を招いた講演
 - (2) 伝統工芸、先端技術、特色のある技能等の体験活動
 - (3) 自然体験活動・自然学習活動
 - (4) 地域住民と一緒にを行う社会貢献活動
 - (5) 職場体験
 - (6) 放課後等に行う学習活動
 - (7) 通学合宿 (NPO委託事業)
 - (8) その他、江津市の特色ある教育として支援すべきと教育委員会が認める活動

○事業の実績

①各校で行われた主な「ふるさと学習」

- 実施校：郷田小、渡津小、江津東小、跡市小、川波小、津宮小、高角小、桜江小
江津中、江東中、青陵中、桜江中
- ・地域の伝統芸能を学ぶ
祇園太鼓、ホーランエー、笛、太鼓、神楽、人麻呂など
 - ・地域の歴史、自然を学ぶ
江津本町、江の川、サツマイモづくり、石見銀山とのつながり、天領、植物採集など
 - ・地域貢献活動、社会福祉体験
高齢者世帯宅への弁当配布、河川清掃活動、保育所訪問、高齢者福祉施設訪問など
 - ・キャリア教育の視点での活動
地域の企業を招いて行う生徒との座談会、工場見学、職場体験など
 - ・学力保障
放課後補充授業、ロボット教室、コミュニケーション講演会など
 - ・情報リテラシー講演会
児童・生徒、教員、保護者を対象に情報教育に関する講演会を実施

②通学合宿の実施 (NPO法人てごねっと石見委託)

- 一回目 11月30日(日)～12月3日(水) 参加児童61名 参加ボランティア23名
二回目 12月7日(日)～12月10日(水) 参加児童56名 参加ボランティア21名
参加児童は4年生の66%

○事業の効果

- ・児童・生徒が地域を知ることで、ふるさとを愛する心を育み、将来の江津を担う人材としての成長を図っている。
- ・児童・生徒の地域での活躍は、自己肯定感や自己有用感につながり、長い目でみると学力の向上につながる。
- ・子どもの成長を目の当りにする地域住民の感動や充実感は地域活動の活力につながると考えられる。
- ・子どもの成長に、多様な地域の人が関わるなかで、相互の結びつきが生まれ、地域の絆を強める一助になった。
- ・キャリア教育モデル事業との連携により、事業の深化がみられる。

○事業費の内訳

区分	ふるさと学習支援	通学合宿	計	内容
報償費	1,738,504		1,738,504	ふるさと学習講師謝金、研修会講師謝金、地域学習ボランティア謝金
旅費	18,820		18,820	ふるさと学習講師旅費
需用費	682,584		682,584	活動消耗品、燃料費、修繕料等
役務費	279,658		279,658	連絡郵券料、体験学習手数料
委託料	63,900	1,649,280	1,713,180	WLLさんいん、はまだCAP、てごねっと石見(通学合宿)、石見ケーブル(通学合宿)
原材料費	538,793		538,793	教材材料費
計	3,322,259	1,649,280	4,971,539	

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成 26 年度	事業進捗率	100 %		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会	社会教育	課		目	08	文化財保護費
事業費		18,385,584 円			事業の目的・目標	埋蔵文化財の適切な保護・活用	
財源内訳	・国庫支出金	1,270,000 円					
	県支出金	11,767,000 円					
	地方債	円					
	その他	1,223,505 円					
	一般財源	4,125,079 円					

・ 施策の内容、実績、及び効果

○ 施策の内容、実績

開発事業に際し、事業地内の埋蔵文化財に適切な保護処置を施す。
必要に応じて発掘調査を実施し、成果をまとめる。

● 本町川改修事業（発掘調査）

- ・ 浜田県土整備事務所委託事業（100%補助）
- ・ 内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・ 委託期間：平成26年4月10日～平成27年3月20日
- ・ 委託金額10,000,000円（事業費：10,015,873円）
共済費：557,485円、賃金：4,865,644円、報償費：20,000円、需用費：981,749円
役務費：66,078円、使用料及び賃借料：3,524,917円

● 八神上ノ原遺跡発掘調査事業

- ・ 浜田県土整備事務所委託事業（95%補助）
- ・ 内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・ 委託期間：平成26年10月3日～平成27年2月27日
- ・ 委託金額：1,767,000円（事業費：1,860,850円）
共済費：3,113円、賃金：1,031,808円、需用費：28,094円、役務費：1,926円
使用料及び賃借料：795,909円

● 遺跡発掘調査費

- ・ 国庫補助事業（50%補助）
- ・ 内容：開発に伴う埋蔵文化財所在の有無確認を目的とした試掘調査、鉄製品保存処理
- ・ 期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日
- ・ 補助金額：1,270,000円（事業費：2,540,000円）
共済費：5,499円、賃金：1,821,246円、需用費：44,761円、役務費：5,974円
使用料及び賃借料：269,400円、委託料：393,120円

● 富金原・小川共同竊跡調査事業

- ・ 民間委託事業（100%補助）
- ・ 内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・ 委託期間：平成26年5月12日～平成26年6月30日
- ・ 委託金額：1,200,000円（事業費：1,201,545円）
共済費：906円、賃金：300,513円、需用費：10,800円、役務費：1,890円、委託料：864,000円
使用料及び賃借料：23,436円

● 八神・太田地区農地環境整備事業

- ・ 市事業
- ・ 内容：八神・太田地区農地環境整備事業に伴う埋蔵文化財所在の有無確認を目的とした試掘調査
- ・ 期間：平成26年7月30日～平成27年3月16日
- ・ 事業費：2,767,316円
共済費：193,308円、賃金：2,244,546円、需用費：129,967円、使用料及び賃借料：199,495円

○ 施策の効果

調査の成果は、文化財保護思想の普及啓発のため、「出前講座」を通じて活用している。
市民・研究者からの問合せに対し、適切な対応をするための資料として活用している。

事業名	水の国管理事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	社会教育費
担当部署	教育委員会		社会教育		目	09	生涯学習施設管理費
事業費			12,622,466 円	事業の目的・目標	市民の文化意識を啓発し、創作力、鑑賞力の向上に努め、文化活動の振興を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		638,540 円				
	一般財源		11,983,926 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

区分	分	決算額(円)	備考
水の国・松林宗恵映画 記念館業務委託事業	指定管理料	12,144,000	人件費、光熱水費、設備保守等
	指定管理料(企画展示)	450,000	展示ペイント等
	小計	12,594,000	
一般管理費	役務費	25,466	火災保険料等
	負担金	3,000	しまねミュージアム協議会負担金
	小計	28,466	
合	計	12,622,466	

●入館者及び入館料

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者(人)	60	424	169	155	497	148	124
入館料(千円)	20.7	146.2	56.4	45.2	144.0	53.7	37.2
区分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者(人)	124	5	32	26	143	1,907	人
入館料(千円)	39.9	2.1	11.0	9.6	18.2	584.1	千円

松林宗恵映画記念館入館者数 2,236人

●事業報告

- ・「春や、春」絵画展 5月1日～6月8日
- ・ふるさと市、敬川太鼓公演 5月3日
- ・川越公民館お茶の会による野点 5月31日
- ・桜江の自然史自由研究室 7月26日～9月1日
- ・鮎のつかみ取り、森林教室 8月17日
- ・思えばいととしわが師の恩展 9月4日～9月29日
- ・岩城山の屏風岩で江ノ川の雲海をみよう 12月13日～3月9日
- ・水の国ふれあい寄席 桂三段 独演会 3月22日

○事業の効果

各種事業を年間を通じて開催することにより、集客に一定の効果が図られた。

事業名	学校給食費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	06	保健体育費
担当部署	教育委員会		学校教育		課	目	02	学校給食費
事業費		105,732,111円		事業の目的・目標	安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	823,732円						
	一般財源	104,908,379円						

施策の内容、実績、及び効果

○実績

	学校名	実施日数(日)	実施食数(食)
配食実績	郷田小学校	194	26,287
	渡津小学校	190	23,191
	江津東小学校	194	28,165
	跡市小学校	188	2,051
	川波小学校	196	20,647
	津宮小学校	196	78,201
	高角小学校	193	46,762
	桜江小学校	197	25,344
	江津中学校	188	46,148
	江東中学校	193	12,968
	青陵中学校	186	52,321
	桜江中学校	197	15,621
	江津幼稚園	134	4,773
	江津学校給食センター	202	5,008
	桜江学校給食センター	203	1,028
計	2,851	388,515	

○費用

節	内容等	金額
旅費	旅費	4,800円
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	26,440,804円
役務費	電話料等	1,600,933円
委託料	給食車運転業務委託料等	10,660,680円
使用料及び賃借料	CATV、印刷機使用料等	269,210円
備品購入費	調理用備品等	2,779,032円
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	63,927,452円
公課費	給食車重量税	49,200円
	合計	105,732,111円

○効果

給食停止をすることがあったが、調理員へ指導・研修を行い、改めて衛生管理や人員配置の見直しを図ったことにより、安全安心及び栄養バランスを考慮した給食を提供し、児童生徒の健全な心と体の発育の一助に寄与した。